

第2章 那須塩原市の概要

1 自然環境

(1) 地理的環境

本市は栃木県の北部に位置し、東京都から 150 km 圏、宇都宮市からは約 50 km の距離にあり、広大な那須野が原の北西一帯を占めています。

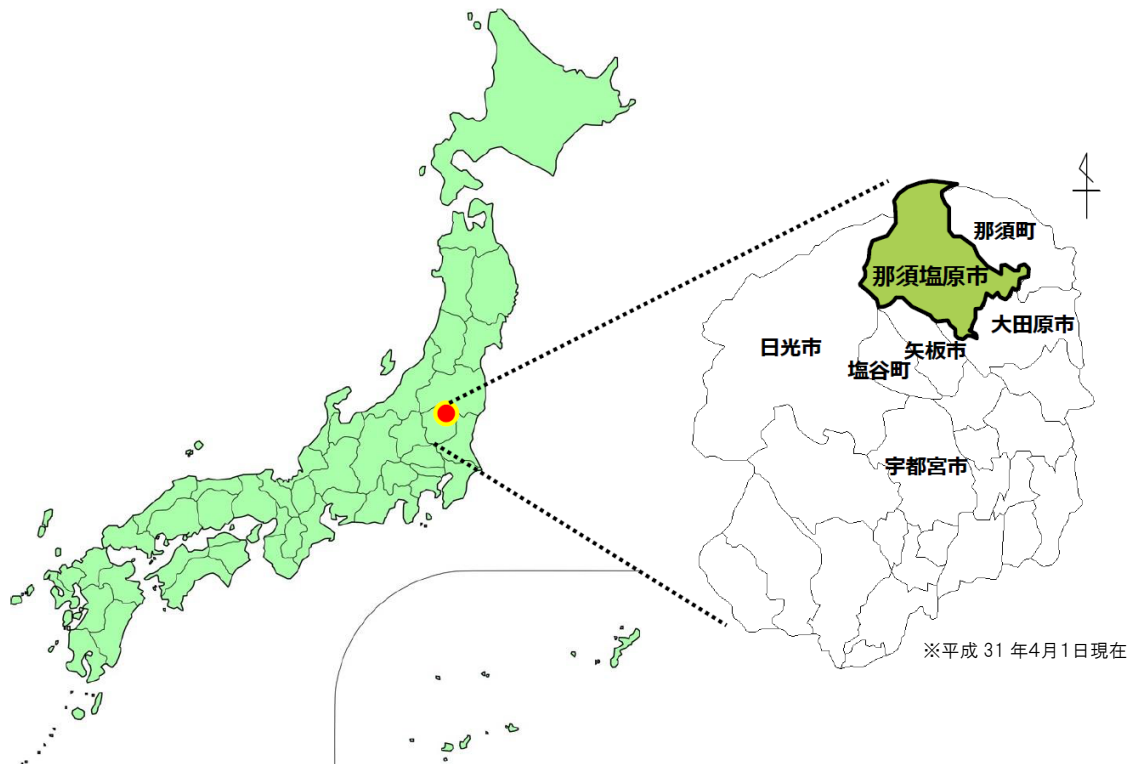
市の面積は 592.74km² で、西部に高原山、北部に大佐飛山や那須連山の最高峰三本槍岳などの山岳部があります。面積の約半分を占める山岳部は日光国立公園を形成し、塩原温泉郷と板室温泉、三斗小屋温泉の温泉地を有し、初夏の新緑、秋季の紅葉など四季折々の多彩な表情を持っています。

市域の南東部は、那珂川や箒川などにより形成された緩やかな傾斜の平地が広がる複合扇状地であり、扇中央部には本州有数の酪農地帯、扇端部には田園地帯が広がっています。

標高は、最高地点が三本槍岳山頂の 1,917m、最低地点は最南部の約 210m となっており、約 1,700m の標高差があります。

また、市域を南西から北東にかけて JR 東北新幹線、JR 宇都宮線、東北縦貫自動車道及び国道 4 号の幹線道が縦貫しており、JR 西那須野駅、JR 那須塩原駅、JR 黒磯駅を中心に市街地が広がっています。

■ 那須塩原市の位置



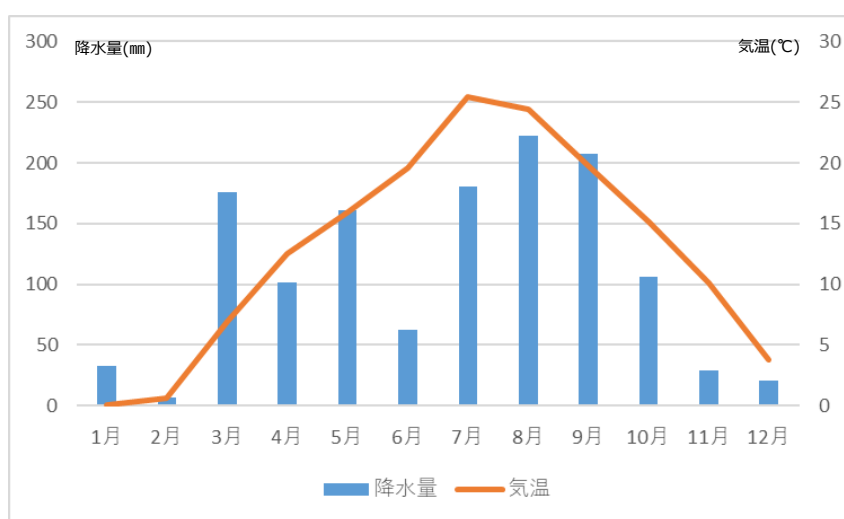
(2) 気候

本市は高原性の冷涼な気候であると言われていますが、平成30年(2018)の年間平均気温は12.9度、最高気温は7月と8月に35.1℃を記録しました。一方、最低気温は1月に-5.3℃が記録され、夏季と冬季の寒暖差は40℃以上あります。

降水は夏季に多く、近年の年間降水量は概ね1,200mm～1,900mmで推移しています。夏季には雷雨の発生が多いのも特徴です。冬季には山地を中心に積雪があり、4月下旬でも一部の地域には残雪が見られます。

また那須野が原では、冬季に「那須おろし」と呼ばれる北西からの強い季節風が吹き、倒木などの被害が出ることもあります。

■気象データ (2018年)



※気象庁ホームページ

■平年値 (統計期間：1981～2010の30年)

	降水量 (mm)	平均気温 (°C)	日最高気温 (°C)	日最低気温 (°C)	平均風速 (m/s)	日最大瞬間風速 (m/s)
1月	31.5	0.6	5.4	-4.2	2.2	23.1
2月	39.0	1.2	6.1	-3.7	2.4	28.6
3月	80.1	4.3	9.7	-0.9	2.5	24.9
4月	110.9	10.1	15.9	4.2	2.4	22.5
5月	140.6	15.0	20.5	9.5	2.1	25.8
6月	173.4	18.7	23.4	14.4	1.7	18.0
7月	238.4	22.2	26.8	18.6	1.5	19.8
8月	247.7	23.5	28.4	19.8	1.5	19.8
9月	229.5	19.7	24.3	15.9	1.7	22.0
10月	136.4	14.0	18.9	9.2	1.9	32.7
11月	74.2	8.1	13.5	2.8	1.9	21.5
12月	35.0	3.1	8.4	-1.9	2.1	20.5
年	1526.1	11.7	16.8	7.0	2.0	

※気象庁ホームページ (観測地点：黒磯)

(3) 河川

那珂川は、栃木県最北の三本槍岳を源として、那須連山の西側を迂回し、板室地点から扇状地を形成しつつ南東に流下し、支川の余笹川、湯坂川、箒川を合流していく流路延長約 59.0km、流域面積 727.5km²、一級支川 43 河川を持つ一級河川です。

上流流域は日光国立公園に指定され、良好な自然環境を形成しています。また豊かな森林は水資源の涵養地ともなっており、一部は水力発電に供されています。

箒川は、市内の白倉山を源として、那須扇状地を東南に流下し、大田原市佐良土で那珂川に合流する延長 47.6km の一級河川です。

市内の 16 支川及び隣接する大田原市矢板市の河川 11 支川を合わせて流域を形成し、総延長は 216.1km、流域面積は約 530km² です。上流域（塩原地区）は日光国立公園を含む山地で、山間を流れる溪谷美を形成しており、中下流域は、険しい山地から那須扇状地へと変わり、沖積地を形成しています。

箒川の支流である蛇尾川と熊川は、那須扇状地のほぼ中央部を流れていますが、通常時は扇状地内では水は伏流し、涸川（水無川）となっており、特徴的な景観となっています。



那珂川（西岩崎付近）



那珂川（黒磯付近）



那珂川（鍋掛・越堀付近）



蛇尾川（疏水交差付近）



蛇尾川（墓沼付近）



箒川（上塩原要害付近）



箒川（中塩原温泉街）



箒川（金沢付近）

2 市の沿革と歴史

(1) 変遷

明治 22 年(1889)の町村制の施行により、本市の基礎となる高林村・鍋掛村・東那須野村・西那須野村・狩野村・塩原村・箒根村が誕生しました。また、明治 45 年(1912)に、東那須野村からの分立により黒磯町が誕生しました。

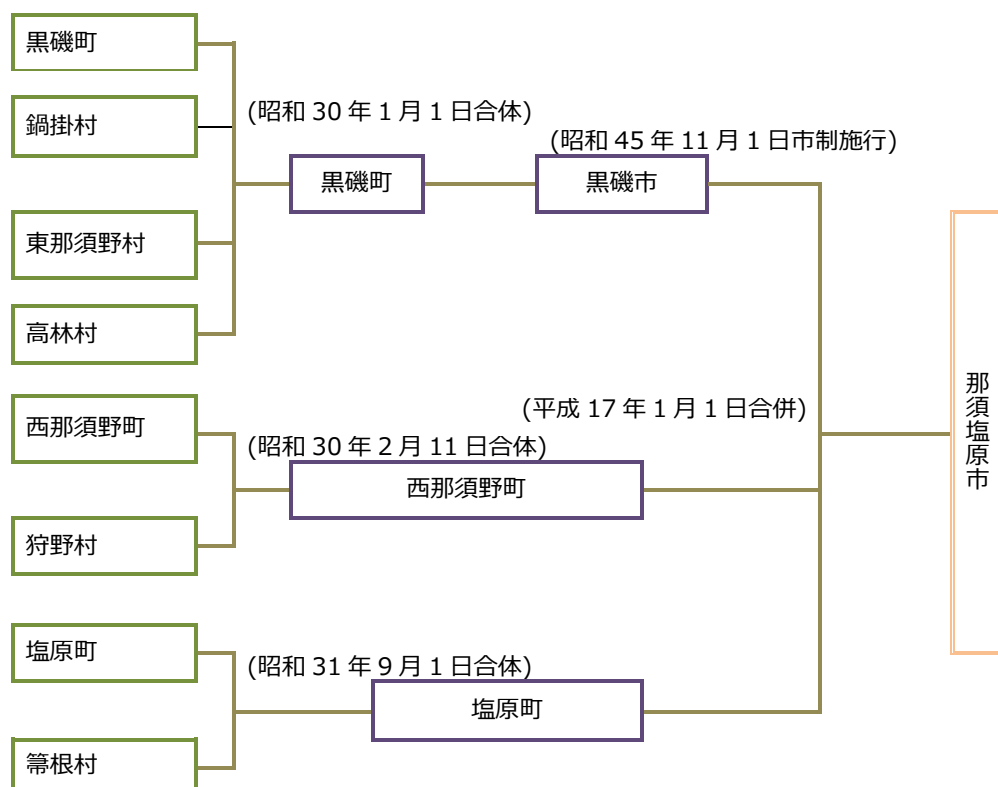
大正 8 年(1919)には、塩原村が町制施行により塩原町となり、昭和 7 年(1932)には、西那須野村が町制施行により西那須野町となりました。

昭和時代に入り、1950 年代に進められた「昭和の大合併」により、昭和 30 年(1955)に黒磯町・鍋掛村・東那須野村・高林村が合併して黒磯町が誕生し、西那須野町と狩野村が合併し西那須野町が誕生しました。翌年の昭和 31 年(1956)には、塩原町と箒根村が合併し塩原町が誕生しました。

また、昭和 45 年(1970)には、黒磯町が市制施行により黒磯市となり、昭和 57 年(1982)には、塩原町が塩谷郡から郡界変更により那須郡となりました。

平成時代に入り、2000 年代に進められた「平成の大合併」の中、平成 17 年(2005) 1 月 1 日、黒磯市・西那須野町・塩原町の 3 市町の合併により、本市が誕生しました。

■ 合併の変遷

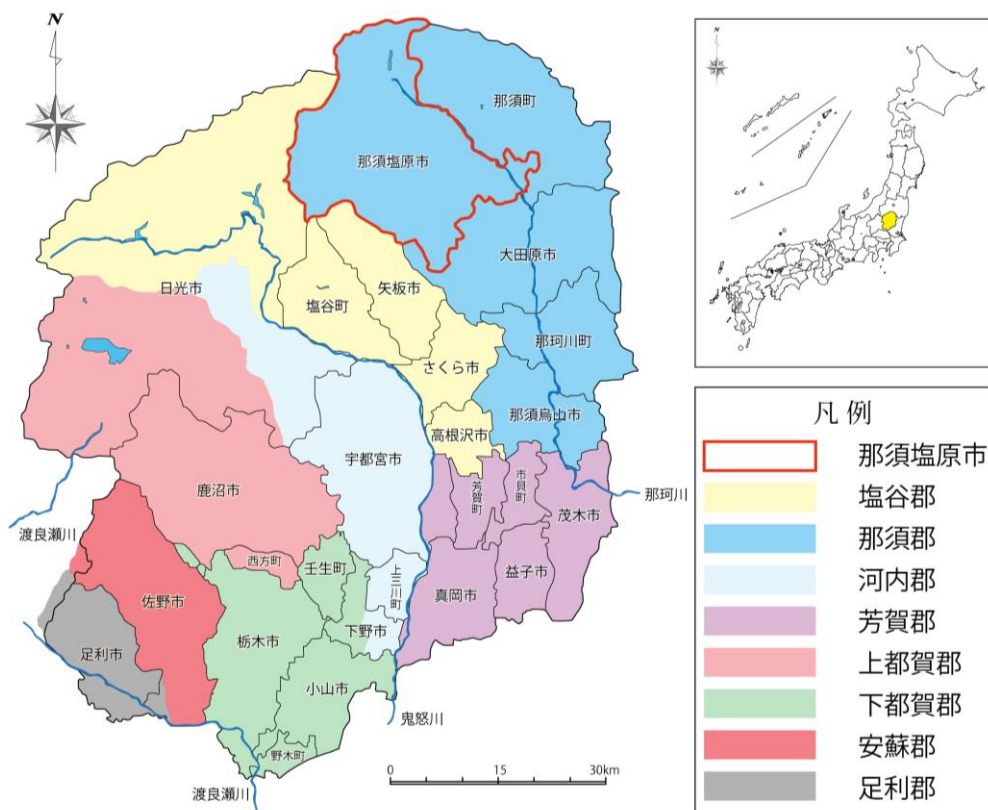


※昭和 31 年 9 月 30 日までの新設合併は「合体」という言葉が用いられていた

■ 那須塩原市の旧行政区分図



■ 栃木県行政分布及び旧郡界図



(2) 歴史

本市の歴史概要について、指定文化財を軸とした略年表を以下に示します。

■文化財略年表

時代	那須塩原市のできごと		那須塩原市の文化財	
旧石器				
縄文		槻沢・井口・寺子・金沢・上塩原ほかに人が住み、集落が営まれる		槻沢遺跡（市指） 深鉢形土器(残欠共)（国指） 槻沢遺跡出土の縄文土器（市指）
弥生				
古墳				
飛鳥	646	那須国、下野国に編入され、那須郡となる	679	嶽山箒根神社奥の院(本殿・他2社)（市指）
	679	山本良章、嶽山神社を創建（伝）	708	金沢の薬師堂（市指）
奈良	806	塩原元湯で温泉が発見される	806	新湯温泉神社(本殿)（市指）
・	1059	板室温泉が発見される	807	塩原八幡宮(本殿)（市指）
・	1089	山本上総介家隆、鳩ヶ森城を築く	912	金沢の箒根神社(本殿)（市指）
・	1156	塩原八郎家忠が塩原ほかを領し八郎館を築く	1018	塩の湯温泉神社(本殿)（市指）
・	1178	塩原八郎家忠、塩原(要害)城を築いて移る	1089	鳩ヶ森城跡（市指）
・	1185	黒館五郎、磯勝光らが黒磯を開く？	年不詳	嶽山箒根神社高清水(遥拝殿)（市指） 木の俣地藏（市指）
鎌倉	1193	源頼朝が那須野一帯で大規模な巻狩りを行う	1178	塩原(要害)城跡（市指）
・	1312	妙雲寺開山	1189	境の紅葉（市指）
・	1397	茶臼岳、噴火	1333	上厚崎の板碑（市指）
・	1408	茶臼岳、噴火	年不詳	絹本著色羅刹天（県指）
・	1410	茶臼岳噴火、死者 180 人	1356	関根の板碑（市指）
			1380	離室城跡（市指）
			1441	上塩原の箒根神社(本殿)（市指）
			1445	福渡温泉神社(本殿)（市指）
			1461	野沢(真木)城跡（市指）
			1476	狭間城跡（市指）
			1482	引久保百観音及び三尊仏・引久保百観音堂棟札（市指）
			1518	温泉神社石幢（県指）
			1519	黒磯郷所領安堵状（市指）
			1528	塩原八幡宮棟札（市指）
	1544	天文 13 年 8 月、箒川右岸の光明寺流されるとい	1545	上大貫の城鉄舞（市指）
			年不詳	上黒磯の板碑（市指）
安土	1590	那須総領資晴改易	1598	茗荷温泉神社(本殿)（市指）
・	1600	徳川家臣水谷勝俊、鍋掛に宿営	1600	関谷の城鉄舞（県指）
・		接骨木堀(臺沼用水の前身)完成	1604	鍋掛の一里塚（市指）
・			1687	畑下温泉神社(本殿)（市指）
江戸	1611	慶長 16 年、会津に地震	1695?	下大貫の一里塚（市指）
	1627	奥州街道整備（このころ鍋掛宿開設）	1695?	横林一里塚(一対)（市指）
	1629	宝永 6 年、箒川洪水という	1695?	高林の一里塚（市指）
	1645	原街道(氏家～白河)が開通	1695?	笹野曾里東・西の一里塚(一対)
	1646	越堀宿が開設される	1695?	板室本村の一里塚（市指）
	1647	巻川用水開かれる	1695?	接骨木の一里塚（市指）
	1652	承応元年、箒川洪水と云う	1695?	西富山の獅子舞（市指）
	1658	新田開発のための長島堀完成	1702	下厚崎の獅子舞（市指）

	1659	万治2年、那須地方大地震 M7.0? 塩原元湯 80 余戸家々埋まる 死者 11 名	1714	板室温泉「温泉記」(市指)
	1672	白湯山大権現開基	1720	城主安全碑(市指)
	1683	天和3年、戸板山崩れ、五十里湖出現	1721	木造菅原道真坐像(市指)
	1689	芭蕉、陸奥に向かう途次、野間にて馬子に短冊 を与えたという	1725	石林の道標(市指)
	1695	会津中街道(氏家～会津若松)開通	1727	板室本村の銅造大日如来坐像・寺子の地藏 尊(市指)(市指)
	1713	下塩原村誕生(福渡、塩釜、塩の湯、畑下、門 前、古町)	1731	妙雲寺の塩溪文庫(旧閻魔堂)・妙雲寺の 薬師堂(市指)
	1770	穴沢用水(旧木ノ俣用水の前身)完成	1740	妙雲寺(本堂)(市指)
	1771	臺沼用水が石林から大田原まで延長	1741	上塩原古代獅子舞(市指)
	1783	那須地方を大飢饉がおそ(天明の大飢饉)	1743	上黒磯の阿弥陀堂(市指)
			1757	大輪地ヶ原絵図(市指)
			1770?	穴沢用水水神祭絵図(市指)
			1775	妙雲寺(宮殿)(市指)
			1778	穴沢用水普請供養塔(市指)
	1810	代官山口鉄五郎、山口堀開削(新田開発)	1789	数ヶ室の郷蔵(市指)
	1830	大田原宿の商人若林善兵衛が南郷屋付近を 開墾	1792	黒瀧山大日尊(市指)
	1843	杉渡土出身の高久靄匡死去	1808	芭蕉の句碑・東小屋村全図(市指)
			1816	高尾塚碑(市指)
			1827	板室温泉神社本殿(市指)
			1836	板室湯本道標(市指)
			1837	菊地家市十郎百歳長寿文書(市指)
			1848	関谷常夜灯(市指)
			1850	九尾の狐大絵馬(市指)
			1854	薬王寺の算額(市指)
			1855	旧津久井家住宅・穴沢の獅子舞(市指)
			1868	板室古戦場(市指)
	1868	戊辰戦争(板室の戦い・三斗小屋の戦い) 石林村・塩原村・板室村ほか戦火で焼かれる	年不詳	塩原温泉元湯古絵図・本郷町の馬頭観世 音・室井家の四脚門・三本木の獅子舞・高久 霧匡の墓・関谷囃子・木造白衣観音坐像・三 斗小屋宿跡黒羽領境界石(市指)
明	1880	三島通庸ら肇耕社(後の三島農場)を開設	1868	太政官壺朱金札印刷用銅版(市指)
治	"	印南丈作・矢板武ら那須開墾社を開設	1877	遅沢ばやし(市指)
	1881	加治屋開墾場(後の大山・西郷農場)・青木農 場・佐野農場等発足	1878	千本松の観象台(市指)
	1882	那須原飲用水路(細竹～千本松)が完成	1881	親王台(市指)
	1884	新陸羽街道(国道4号)・塩原街道開通	1885・	那須疏水旧取水施設(国指)
	1885	那須疏水通水	1905	
	"	那須開墾社ならびに加治屋開墾場地域に那須 野村誕生	1885	那須疏水旧蛇尾川伏越出口(市指)
	1885	毛利(豊浦)農場発足	1885	鑿道八景(市指)
	1886	宇都宮～黒磯間の鉄道開通(西那須野駅・黒 磯駅開業)	1885	品川弥二郎の旧念仏庵(市指)
	1889	町村制施行により東那須野村・鍋掛村・高林 村・西那須野村 狩野村・塩原村・箒根村誕生	1886	印南丈作翁屋敷跡(市指)
	1893	新木ノ俣用水完成	1888	旧青木家那須別邸(国指)
	1898	東那須野駅開業	1888	常盤ヶ丘(市指)
	1908	西那須野～大田原間に那須人車軌道開通	1892	乃木希典那須野旧宅(県指)
			1898	印南丈作の頌徳碑(市指定)
			1900	臺沼用水旧取水口(市指)

大正	1912	黒磯町誕生(東那須野村から分離独立)	1904	鶏鳥神社の絵馬 (市指)
	"	関谷～西那須野間に塩原軌道が開通	1905	旧塩原御用邸新御座所 (県指)
			1905?	大山記念館洋館 (県指)
			年不詳	原街道絵図・戸長役場印・芦屋道満の解脱塔 (市指)
			1913	三島通庸の肖像画 (市指)
	1914	黒磯～那須間に乗合自動車が行き開始	1915	木綿畑新田の太々神楽 (市指)
	1916	乃木神社創建	1916	乃木神社のシダレザクラ (市指)
	1918	西那須野～黒羽間に東野鉄道が開通	1917	大山参道のモミジ並木 (市指)
	1919	塩原村が町制施行により塩原町となる	1917	上塩原源太踊り (市指)
	1922	塩原軌道、新塩原まで延長し電化する(同年塩原口まで延長)	1918	高木会館 (国登録)
昭和			1919	高林村道路元標 (市指)
			1919	黒磯町道路元標 (市指)
			1919?	加登屋旅館本館 (国登録)
			1922	塩原軌道跡「塩原口」駅舎跡
			1922	三島弥太郎の肖像画 (市指)
			1923	御野立所跡碑(山頂)(山麓) (市指)
			1923	摂政宮殿下御野立所跡 (市指)
	1931	黒磯駅前大火	1927	金乗院奥の院地藏堂 (市指)
	1932	5代目晩翠橋架橋(後の日本土木遺産)	1937?	加登屋旅館別館 (国登録)
	1942	那須野陸軍飛行場開設	1952?	加登屋旅館悠仙閣 (国登録)
1945	戦後の開拓団発足	1973	かそのジサマ (市指)	
～				
1947	多くの大農場が解体される			
1950	塩原町が日光国立公園の一部に指定される			
1955	黒磯町・鍋掛村・東那須野村・高林村が合併(黒磯町)			
1955	西那須野町と狩野村が合併(西那須野町)			
1956	塩原町と箒根村が合併(塩原町)			
1966	新木ノ俣用水隧道事故			
1970	黒磯町市制施行			
1973	深山ダムができる			
1974	東北自動車道矢板～白河間開通(西那須野塩原 IC 開設)			
1982	東北新幹線開通(那須塩原駅開業)			
1998	那須水害			
平成	2005	黒磯市・西那須野町・塩原町の合併により那須塩原市誕生		
	2009	東北自動車道に黒磯板室 IC 開設		
	2011	東日本大震災		

※「那須塩原市の文化財」に加筆

3 社会的環境

本市は豊かな地域資源を持っており、農業・観光・産業などのバランスもよく、また交通の要衝として発展してきました。しかしながら、今後は全国的な地域課題である人口減少・少子高齢化とそれに伴う福祉比重の増大や、生産年齢人口の減少に伴う経済の停滞などが懸念されています。

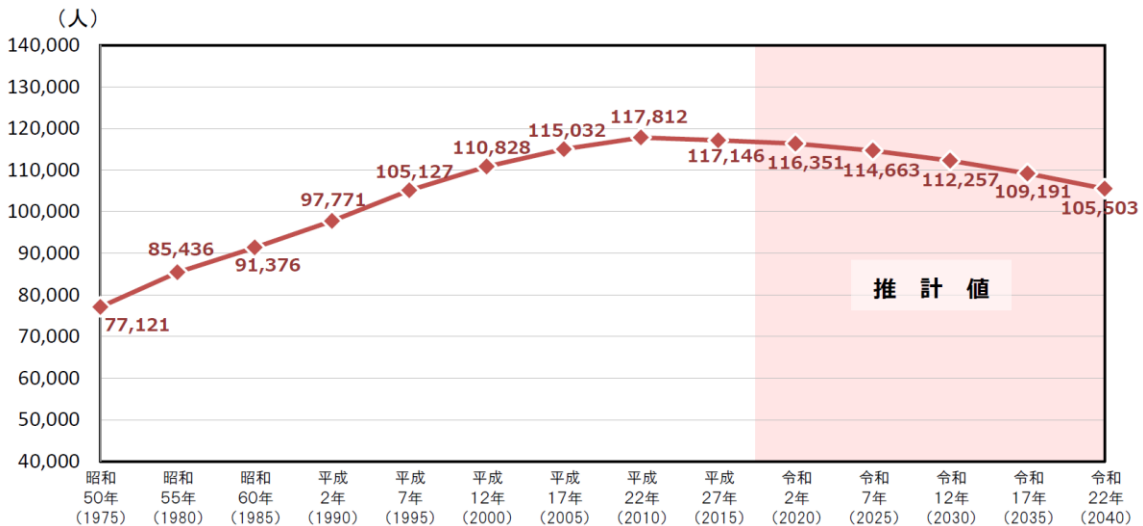
(1) 人口の動態と将来ビジョン

① 総人口と世帯数

平成 27 年(2015)の国勢調査による本市の総人口は 117,146 人であり、平成 22 年(2010)の 117,812 人に対し 666 人減少しました。

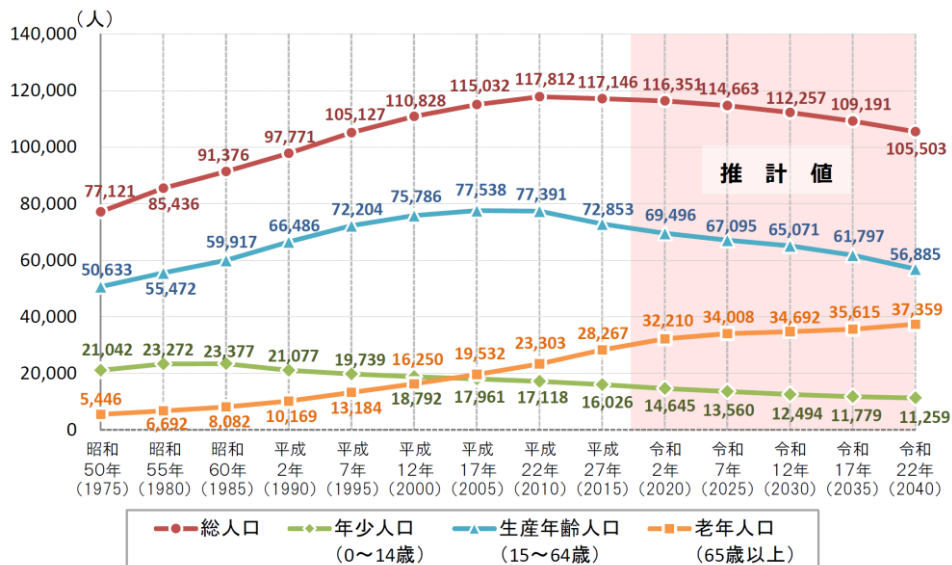
この国勢調査の結果を基に将来推計をしたところ、本市の総人口は第 2 次総合計画期間内の令和 7 年(2025)に 114,663 人になる見込みであり、その後も緩やかに減少する予測となっています。

■ 人口推移と将来推計

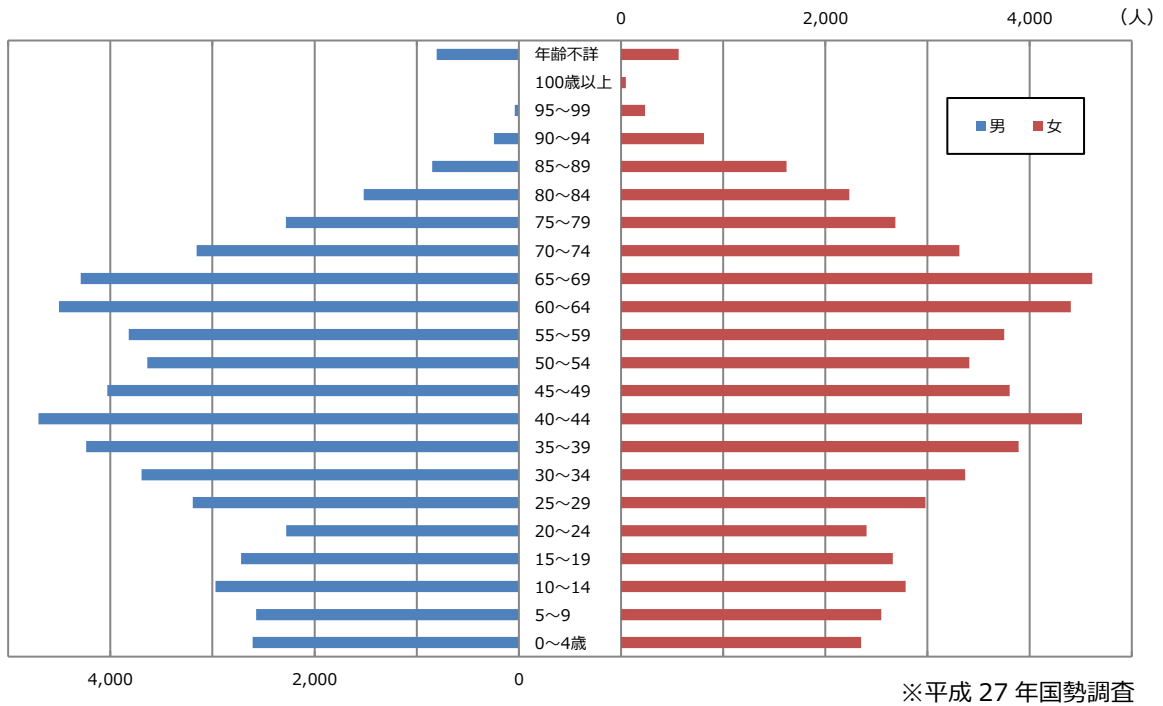


※第 2 次那須塩原市総合計画

■ 年齢 (3 区分) 別人口推移と将来推計

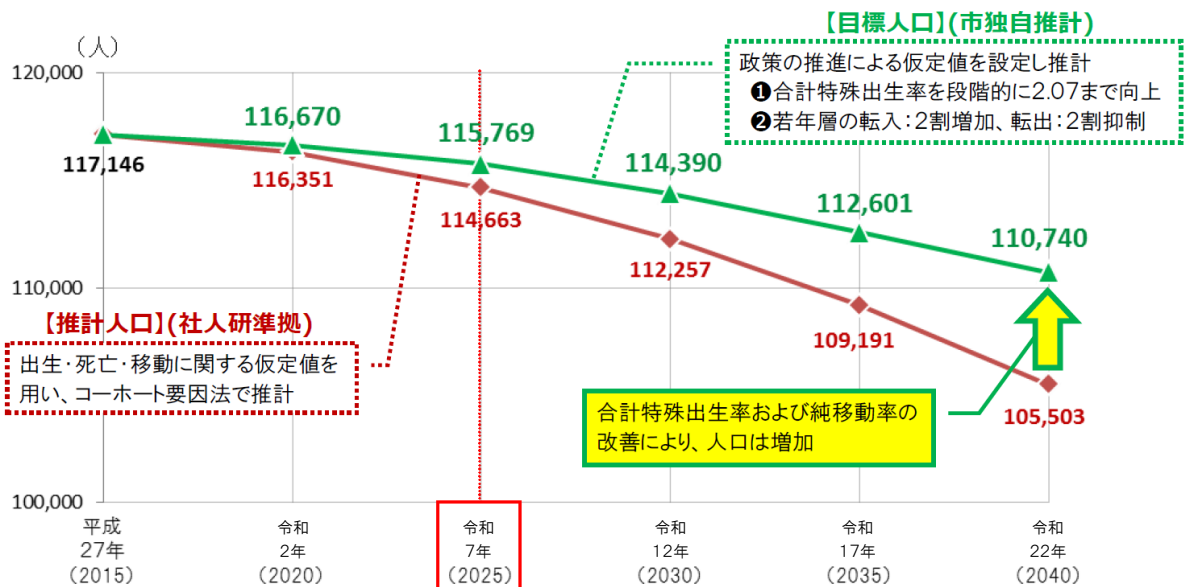


■人口ピラミッド



なお、第2次那須塩原市総合計画における人口ビジョンでは、合計特殊出生率と転入転出に関する数値の改善により、令和7年(2025)における本市の目標人口を115,800人としています。

■目標人口



※第2次那須塩原市総合計画

次に、本構想において、今後の文化財の活用や維持に関し、市民協働や地域自治を検討するうえで念頭に置くべき地区(旧市町村区)に合わせて、地域別人口を集計しました。

■ 地区・地域別人口・世帯数 (平成 30 年 4 月 1 日現在)

(単位：人)

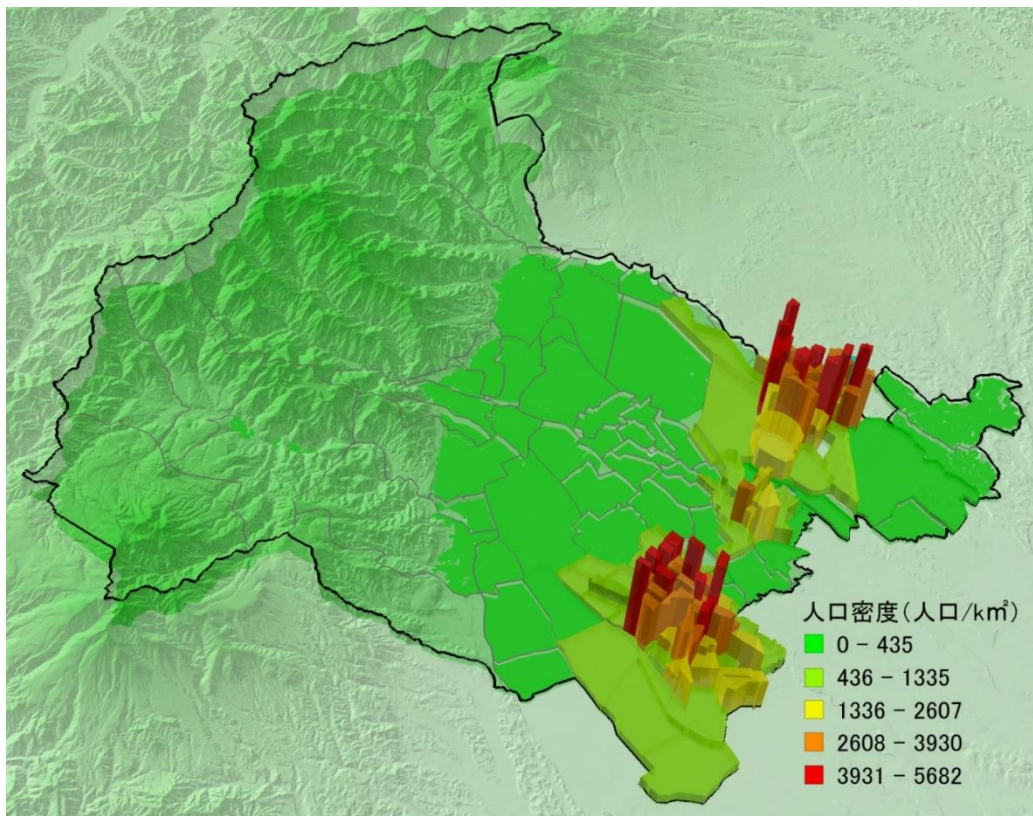
地域名	総数	男性	女性	世帯数	平均 世帯人員
黒磯地区	36,611	17,950	18,661	15,445	2.37
東那須野地区	11,960	5,961	5,999	4,748	2.51
高林地区	5,926	3,040	2,886	2,312	2.56
鍋掛地区	6,981	3,502	3,479	2,667	2.61
西那須野地区	25,804	12,898	12,906	10,619	2.42
狩野地区	23,095	11,651	11,444	9,833	2.34
塩原地区	1,989	967	1,022	1,006	1.97
箒根地区	5,290	2,632	2,658	2,063	2.56
総数	117,656	58,601	59,055	48,693	2.42

※那須塩原市統計書 (平成 30 年版)

本市における人口集中地区(DID)は、JR 黒磯駅周辺と JR 西那須野駅周辺の 2カ所あります。

JR 黒磯駅周辺では平成 12 年以降 3%前後で人口は減少しており、平成 27 年度(2015)のデータでは 1 km²あたり 3508.2 人となっています。一方、JR 西那須野駅周辺では 3%から 8%程度の人口増加を続けています。

■ 人口密度マップ



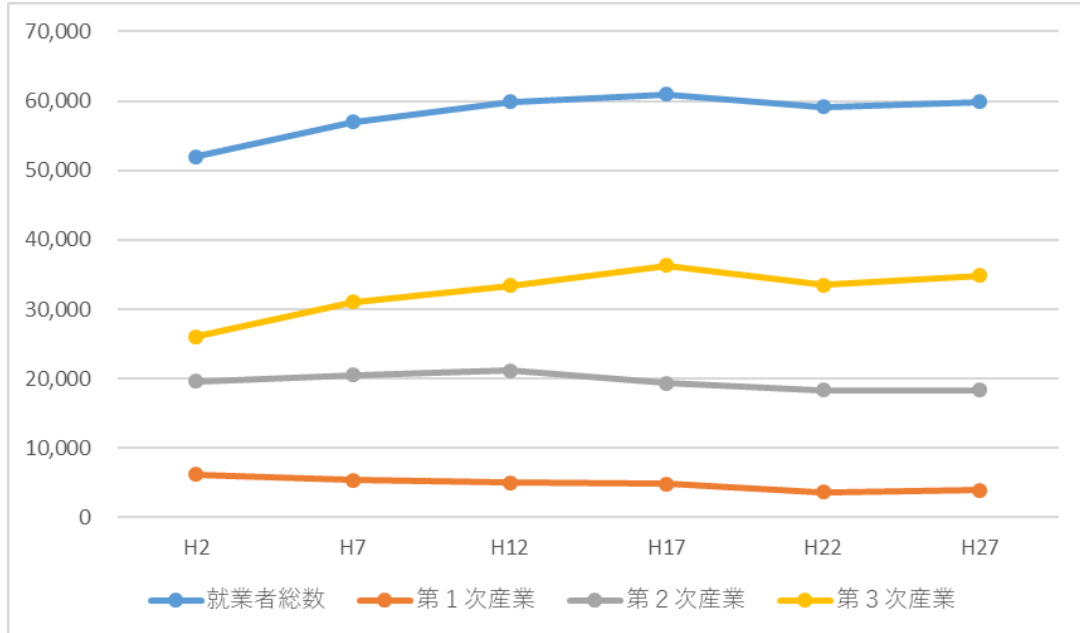
※国土地理院 基盤地図情報を使用し作成

(2) 産業

平成 27 年国勢調査における本市の産業別従業者数は第 1 次産業 3,912 人(6.5%)、第 2 次産業 18,344 人(30.6%)、第 3 次産業 34,836 人(58.2%)となっています。

■産業別就業（15 歳以上）人口

(単位：人)

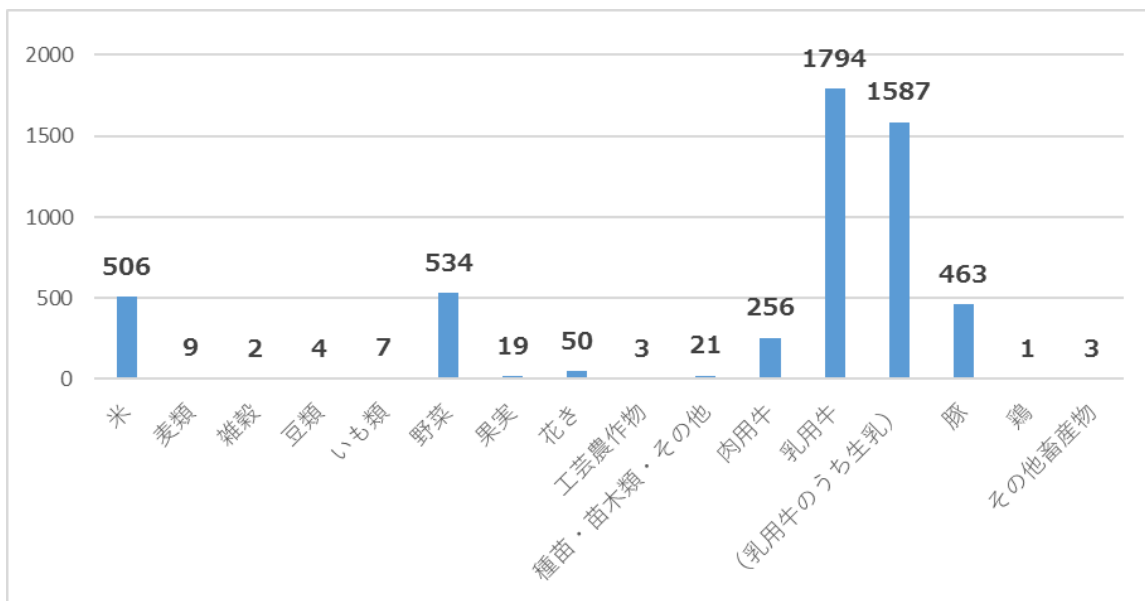


※那須塩原市統計書（平成 30 年版）

本市の農業算出額をみると、生乳産出額が 1,587 千万円と最も高く、本州一の酪農地域としての特徴が伺えます。

■農業産出額（推計）

(単位：千万円)

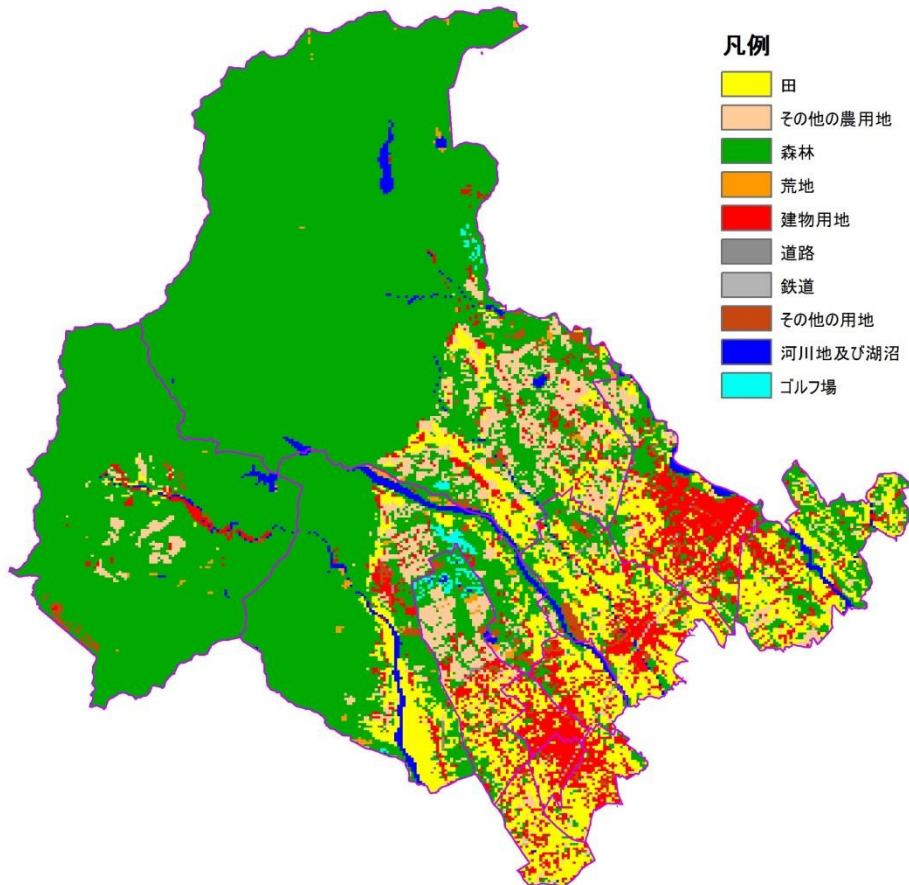


※農林水産省ホームページ（平成 29 年推計値）

工業では、ゴム製品製造工場が昭和 37 年(1962)と早くから進出しているほか、食品加工工場も多く進出しています。工場の進出やサービス産業としてのいわゆる「ロードサイドビジネス」の店舗が国道 4 号沿線に、また飲食を中心とした店舗が国道 400 号などに展開しています。

用途別土地利用の現況を見ると、建物用地は鉄道幹線を核にブロック状に広がり、工場やロードサイドの立地する場所へも広がりつつあります。

■ 用途別土地利用の現況



※国土交通省：国土数値情報土地利用細分メッシュ（ラスター版）データを使用し作成

(3) 観光

平成 30 年(2018 年)における本市の観光入込者の数は 9,425,301 人であり、前年度から微増している一方で、宿泊者数は 947,162 人で前年度よりやや減少傾向にあります。平成 23 年 3 月の東日本大震災による落ち込みからは回復傾向ではありますが、平成 22 年以前のピーク時には至っていません。

■観光客入込数（総数・月別）

(単位：人)

年	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)
総数	8,118,334	9,518,291	9,789,918	9,864,578	9,989,935	9,757,318	9,355,910	9,425,301
1 月	688,945	651,853	735,276	769,340	738,792	742,383	744,834	728,972
2 月	496,352	440,560	554,655	438,141	556,442	532,230	515,019	516,975
3 月	262,429	580,289	719,090	765,748	706,423	709,582	705,096	717,178
4 月	468,653	703,660	735,821	766,748	804,021	744,824	751,239	797,202
5 月	809,651	767,579	930,432	940,426	1,009,908	950,245	925,107	837,688
6 月	599,253	632,427	744,472	697,230	696,171	678,153	683,122	675,093
7 月	816,363	968,892	900,853	949,950	979,259	1,072,626	941,191	942,513
8 月	1,058,131	1,459,877	1,281,508	1,267,920	1,243,873	1,195,664	1,136,181	1,164,281
9 月	687,496	836,566	798,878	856,772	806,300	721,088	720,410	744,923
10 月	970,579	1,003,177	904,335	950,277	993,353	989,801	786,134	934,250
11 月	718,340	850,107	831,964	842,377	792,688	756,138	769,633	738,948
12 月	542,143	623,304	652,634	619,649	662,705	664,584	677,944	627,278

資料：平成 23(2011)年～平成 30(2018) 年栃木県観光客入込数・宿泊数推定調査結果

■ 観光客宿泊数（総数・月別）

（単位：人）

年	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)
総数	837,658	917,645	961,716	942,303	958,220	935,342	957,208	947,162
1月	67,434	63,729	63,258	63,807	63,897	61,527	64,500	58,354
2月	62,438	50,339	58,263	49,025	54,015	51,921	54,404	52,641
3月	31,686	67,286	75,064	76,118	75,521	69,181	76,820	75,409
4月	30,951	64,019	70,148	62,053	61,484	65,213	66,235	70,279
5月	70,026	76,051	75,400	79,573	84,270	79,967	85,364	79,071
6月	58,809	65,938	65,265	67,402	64,994	60,289	62,777	65,598
7月	78,592	76,405	77,928	76,589	83,494	84,469	83,114	81,009
8月	117,581	124,814	138,084	139,522	146,376	137,476	136,841	135,662
9月	62,808	71,158	73,662	71,610	70,333	73,310	77,515	79,580
10月	95,129	93,415	95,074	93,310	93,830	94,339	89,026	92,957
11月	97,001	97,736	99,656	98,002	92,837	88,381	91,450	87,179
12月	65,203	66,755	69,914	65,292	67,174	69,269	69,162	69,423

資料：平成 23(2011)年～平成 30(2018) 年栃木県観光客入込数・宿泊数推定調査結果

（注）外国人の宿泊者を含む。

■ 観光客入込数・地域別

（単位：人）

	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	前年比 %
那須塩原市	9,789,918	9,864,578	9,989,935	9,757,318	9,355,910	9,425,301	100.7
旧黒磯市	5,706,494	5,778,460	5,815,914	5,711,421	5,438,637	5,507,307	101.3
旧西那須野町	1,554,053	1,491,377	1,561,891	1,508,763	1,456,934	1,455,572	99.9
旧塩原町	2,529,371	2,594,741	2,612,130	2,537,134	2,460,339	2,462,422	100.1

資料：平成 30(2018)年栃木県観光客入込数・宿泊数推定調査結果

■ 観光客宿泊数・地域別

（単位：人）

	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	前年比 %
那須塩原市	961,716	942,303	958,220	935,342	957,208	947,162	99.0
旧黒磯市	131,985	125,142	119,578	113,469	133,637	138,598	103.7
旧西那須野町	31,607	29,765	32,621	33,403	32,800	32,606	99.4
旧塩原町	798,124	787,396	806,021	788,470	790,771	775,958	98.1

資料：平成 30(2018)年栃木県観光客入込数・宿泊数推定調査結果

(4) 上位・関連計画の概要

本市では、将来像を「人がつながり 新しい力が湧きあがるまち 那須塩原」とした第2次那須塩原市総合計画を平成29年3月に策定し、基本施策「芸術・文化環境を充実させる」において「文化財の有効活用について取り組む」としています。

また、那須塩原市教育振興基本計画を始めとした各分野の計画においても、文化財の保存・活用に関する方針や取組が示されているものがあることから、本構想を策定するにあたっては、上位計画、関連計画との整合を図ります。

■ 歴史文化基本構想の関連計画

第2次那須塩原市総合計画（H29年度～R8年度）	
計画の目標等	<p>【将来像】 人がつながり 新しい力が湧きあがるまち 那須塩原</p> <p>【まちづくりの基本理念】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 自然を守り、共生するまちづくり ■ 歴史に学び、開拓精神が息づくまちづくり ■ 人を中心に、共に支えあうまちづくり
関連項目	<p>【基本政策】 未来を拓く心と体を育むために</p> <p>【基本施策】 芸術・文化環境を充実させる</p> <p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 新たな文化財の指定と既存の文化財の保護と維持管理 ■ 無形民俗文化財保存団体への支援 ■ 文化財を活用した地域活性化の推進

那須塩原市教育振興基本計画（H29年度～R8年度）	
計画の目標等	<p>【基本理念】</p> <p>未来を切り拓く創造力と 他者を思いやる想像力を育み 生涯にわたって自分らしく自立して生き抜くことができる人づくり</p>
関連項目	<p>【基本施策】 芸術・文化環境の充実</p> <p>市民が多様な芸術文化に身近に触れ、また、文化財が適切に保存・継承され、市民一人ひとりが地域とその歴史を学ぶことで、ふるさとへの愛着と誇りが生まれる素地を醸成することを目指す</p> <p>【具体的施策】 文化財の有効活用</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 新たな文化財の指定と既存の文化財の保護と維持管理 先人から受け継がれてきた文化遺産を後世に伝えていくため、文化財調査を行います。また、貴重な資料については、新たに文化財に指定するとともに、既に文化財に指定している史跡及び資料については、管理状況を把握し、適切な環境整備を行い、保護に努めていきます。 ② 無形民俗文化財保存団体への支援 無形民俗文化財が継承されるよう保存団体に対し、必要な支援を行います。 ③ 文化財を活用した地域活性化の推進 地域の活性化につながるよう、日本遺産の認定推進をはじめ、文化財群を有効に活用します。

第2期那須塩原市生涯学習推進プラン（H29年度～R8年度）	
計画の目標等	<p>【基本理念】 学びでつなぎ とともに創るまち 那須塩原</p>
関連項目	<p>【施策】 豊かな心と文化をはぐくむために</p> <p>【取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 地域の文化財の保存と継承 地域の文化財の保存と継承を推進します。 ■ 地域の歴史、伝統文化に対する理解 市民が行う伝統文化の継承を支援するとともに、地域の歴史、伝統文化に対する理解を深めます。また、国内外に本市の地域文化を積極的に発信します。

那須塩原市景観計画（H21年度～）	
計画の目標等	<p>【区域】 那須塩原市全域</p> <p>【景観まちづくりの目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 豊かな自然と調和した潤いとやすらぎのある景観を形成する 2 交流を促進し、魅力ある都市の景観を形成する 3 先人の築いた歴史、文化を継承し、地域固有の景観を形成する 4 市民協働の景観まちづくりを推進する
関連項目	<p>【基本方針】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 新しい都市活力を創造する <ul style="list-style-type: none"> ■ 多様な人々が交流する玄関口にふさわしい景観づくり ■ 自然景観との調和のとれた観光施設等の誘導 2 地域固有の景観の保全 <ul style="list-style-type: none"> ■ 雄大な山並みの眺望の保全 ■ 農地と平地林が織り成すのどかな田園風景の保全 ■ 特徴ある街道やうろいのある水辺の保全 ■ 歴史・自然と個性を演出する景観づくり 3 市民協働の景観まちづくり <ul style="list-style-type: none"> ■ 多様な参加による景観まちづくりの推進

那須塩原市まち・ひと・しごと創生総合戦略（H27年度～R1年度）	
計画の目標等	<p>【目的】 選ばれるまちづくり</p> <p>本市には那須疏水の開削のために様々な開拓者を受け入れて以降、人と自然との共生を育んできた「選ばれしまち」としての歴史があり、フロンティアスピリッツを引き継ぐ文化・風土が残っています。本市の特徴を活かしつつ、本市独自の施策展開、個性を明確にすることで定住促進を図り、人口減少克服と地方創生に取り組んでいきます。</p>
関連項目	<p>【重点施策】 交流</p> <p>【取組】 市全体での魅力ある観光地づくり</p> <p>市内観光協会等と連携し、本市がもつ風光明媚な自然や温泉などの豊かな地域資源を生かした、他の地域にはない魅力ある観光地づくりを推進し、観光プロモーションの充実を図ります。アートを活用したまちづくりに市民協働で取り組むとともに、那須野が原開拓の歴史の日本遺産への登録に取り組むなど、本市の魅力を活かしたまちづくりを進めます。</p>

那須地域定住自立圏共生ビジョン（H27年度～R1年度）	
計画の目標等	<p>広域計画：那須塩原市・大田原市・那須町・那珂川町の中心市として構想を推進</p> <p>【将来像】</p> <p>「多自然地域と居住都市の新たな共生」－自然を育み、魅力・活力に満ちた圏域の創出を目指して－</p>
関連項目	<p>【取組分野】 産業振興</p> <p>【形成協定】</p> <p>圏域内の自然景勝地や温泉、歴史、文化、農産物を有効に活用し、観光客の増加や販路の拡大に向けたPR活動に連携して取り組む</p>

また、平成21年3月に策定した那須塩原市都市計画マスタープラン（目標年次：令和7年(2025)）では、市域を12に区分し地域別のまちづくりの目標や方針をまとめた「地域別構想」を定めています。

歴史文化基本構想においては、文化財の保存・活用について、地域の歴史的背景なども取り入れながら検討する必要があるため、本市都市計画マスタープランにおける地域別構想を参考にし、整合や連携を図ります。

■ 那須塩原市都市計画マスタープランにおける地域別構想（概要）

地域区分	地区別まちづくりの目標	まちづくり方針（歴史文化関連事項）
1 黒磯地区	黒磯の中心にふさわしい魅力と人と人との交流のあるまち	<ul style="list-style-type: none"> ■ にぎわいの再構築 ・黒磯駅周辺を本市の北の玄関口と位置づけ、黒磯神社や蔵などの歴史的建築物や老舗商店の趣きを活かしながら、市民や訪れる観光客が楽しめるまちづくりを進めます。
2 鍋掛地区	歴史に育まれた豊かな自然環境と調和したまち	<ul style="list-style-type: none"> ■ 歴史文化漂うまちづくり ・芭蕉の句碑や鍋掛の一里塚といった歴史的資源を核に、旧奥州街道の景観の保全に取組み、生活と調和した歴史文化漂うまちづくりを進めます。
3 東那須野地区	新たな文化の創造と発信により多くの人を引きつける 出会いにあふれたまち	<ul style="list-style-type: none"> ■ 自然・歴史資源の活用 ・薬王寺等の地域ゆかりの資源を活用し、散策路やポケットパークなどの整備を進めます。
4 高林地区	高原の緑と広がる大地に包まれ、こころ豊かに暮らせるまち	<ul style="list-style-type: none"> ■ 観光拠点の整備 ・板室温泉地区、木の俣川周辺及び湯宮・嶋内地区においては、温泉、那珂川や木の俣川などの観光資源、黒瀧山信仰や大日薬師といった歴史・文化資源を活用し、来訪者との交流の場を創出し、憩いの里としての整備を進めます。 ・田舎ランド嶋内、明治の森及び戸田水辺公園を活用し、また沼原湿原等の高原観光地域拠点とのネットワーク化を通して、地域の資源を最大限活かした、人々の交流を促します。
5 西那須野中央地区	新市の南の顔にふさわしい いきいきとした明るいまち	<ul style="list-style-type: none"> ■ まちなかに那須疏水等の自然の潤いを効果的に持ち込む ・疏水パークのように那須疏水を活用した公園づくりを検討します。
6 西那須野狩野地区	歴史のかほりそよぐさと	<ul style="list-style-type: none"> ■ 権現山を拠点とする歴史と自然の環境を創造する ・地域のシンボルとして権現山の自然を保全し活用するとともに、それに連なる平地林や河川、湧水等の各種の資源をネットワークさせ、地域の歴史と自然を身近に感じられるようにします。
7 西那須野南地区	美しい水と緑にあふれた でのい	<ul style="list-style-type: none"> ■ 常盤ヶ丘の歴史的・自然的環境を創造する ・常盤ヶ丘は、歴史的なシンボルであると同時に、まとまった緑地として貴重な存在であるため、現在の土地利用を維持・保全するとともに、オープンスペースの公園的整備を進めます。 ■ 那須疏水を活用した水辺空間をつくる ・たて道及び縦堀は、地域のシンボリックな道として位置づけ、那須疏水の再整備等を検討します。 ・自転車・歩行者ネットワークの形成にあわせ、那須疏水を活かした水辺空間を創造します。 ■ 歴史的な資源を活かした風景をつくる ・地域の南にある旧日光北街道や親王台等の歴史的資源を生かし、田園地区の歴史やふるさとを感じさせる風景を創造します。 ・南小学校周辺のたて道や横道等の古くから整備された道は、その名残を生かしながら住民の身近な空間として整備します。
8 西那須野西地区	開拓の歴史が息づく、そすいの郷づくり	<ul style="list-style-type: none"> ■ 良好な田園空間を維持し創造する ・那須野が原の自然と開拓の歴史が息づく田園空間を維持していくため、住宅地や工業系施設の開発に対する適切な土地利用誘導と、営農環境の保全や農地の維持支援に取り組めます。 ■ 開拓地の水・緑・歴史に親しめる空間づくり ・開拓地の豊かな自然・歴史資源に親しめるよう、環境整備と平地林の保全に取り組めます。 ■ 地域の自然・歴史資源を結ぶ歩行者・自転車ネットワークをつくる ・開拓地の豊かな自然・歴史資源を回遊できる歩行者・自転車ネットワークの形成に取り組めます。
9 西那須野三島地区	街並みに笑顔が映えるごぼんの目一三島地区	<ul style="list-style-type: none"> ■ 多くの人交流し、活動する拠点機能を強化する ・文化交流拠点では、那須野が原博物館や三島体育センター等、市民や来訪者の交流や活動の拠点を形成します。 ■ 東赤田の田園地域を維持し創造する ・良好な営農環境と田園風景を維持していくため、住宅や工業系の沿道立地施設の適切な規制誘導やホテルや石ぐら等の自然的・歴史的資源の保全・活用に取り組めます。

10 西那須野 大山地区	文教と友愛の郷一大山地区	<ul style="list-style-type: none"> ■ふるさと感じる田園地域の景観をつくる ・屋敷林や水路、歴史的資源等の地域資源を生かし、特徴的な景観を持つ農村集落として維持・創造します。 ■歴史・文化・自然資源を大切に空間をつくる ・大山別邸や乃木別邸等の歴史的・文化的な資源や乃木緑地等の自然資源を活用し、地域を散策する散歩道のネットワーク形成を図りつつ、潤いのある空間づくりを進めます。
11 塩原地区	豊かで清らかな流れを守り育てる 温泉文化の郷—塩原	<ul style="list-style-type: none"> ■温泉街の活性化 ・『文化温泉郷—塩原』の再生を目指して、社寺を始め民間で所有する文化財、伝統工芸品、技術者等を見学する場と機会を設け、温泉街の滞留する魅力を高めるとともに、塩原温泉の各所で文化に触れる場所を積極的に生み出します。 ■自然体験拠点の再生 ・大沼公園などの自然体験の拠点を再整備します。 ・温泉街周辺などの山間部を、自然体験のフィールドとして積極的に活用していきます。
12 箒根地区	水と緑と個性を活かした景観整備による 新たなまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ■旧関谷宿の歴史を活かした景観の整備 ・旧関谷宿の歴史を物語る遺産・史料の展示、商店街における景観やサインの整備によって、宿場町としての雰囲気再生します。 ■塩原ダム湖及び周辺における水辺観光拠点づくり ・既設のもみじ谷大吊橋や回顧の吊橋などを活かした、ダム湖周辺を回遊できる歩道の整備を行い、より滞留機能を高めます。